

# 第28回 村尾育英会学術賞 募集要項

## 内 容

1. ごあいさつ
2. 第28回「村尾育英会学術賞」募集要項
3. 同上掲示用（PDF版は省略）
4. 「村尾育英会学術賞」申請書
5. 「村尾育英会学術賞」受賞者一覧表
6. 財団法人村尾育英会とは

### 財団法人村尾育英会

〒650-0004

神戸市中央区中山手通3-4-7

TEL : 078(332)1901

FAX : 078(332)1925

E-mail: jimukyoku@mura-ikueikai.com

なお、本学術賞募集要項は、村尾育英会トップページ

<http://www.murao-ikueikai.com/> からダウンロードできます。

2010年5月

## ごあいさつ

財団法人村尾育英会  
理事長 村尾 一夫

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

村尾育英会の創設者・村尾市松翁は、神戸港の振興に情熱を傾け、神戸の発展をひたすら追求してきました。当会は翁の理念に則り、1972年8月に設立され、以来37年を経過しました。1983年に「村尾育英会学術賞」を設け、若い研究者の研究意欲をもりたてるため、おもに神戸に関連する業績顕著な研究を顕彰しています。

募集対象は、「神戸ないし兵庫にゆかりのある研究」または「兵庫県内の研究機関に所属する研究者の研究」であります。

つきましては、別添募集要項にしたがって、さまざまな分野における萌芽的研究をご推薦下さいますようお願い申し上げます。

## 第28回「村尾育英会学術賞」募集要項

第28回「村尾育英会学術賞」申請者を下記の要領により、広く一般から募集し、その業績が各界の発展に寄与することが顕著なものについて、これを顕彰し賞金を贈ります。

### 記

#### 1. 募集対象

「神戸ないし兵庫にゆかりのある研究」または「兵庫県内の研究機関に所属する研究者の研究」  
—人文・社会・自然科学および技術・芸術等の領域における萌芽的、  
特に地方的あるいは未分化の境界領域の研究・業績—

#### 2. 申請者の資格

申請者および共同研究者は、おおむね45歳までとします。

#### 3. 応募方法

申請者は、研究業績など詳細事項を別紙「村尾育英会学術賞申請書（コピー可）に、パソコン等で記入または貼付の上、著書・論文・参考資料を添えて、当会事務局までご提出下さい。

#### 4. 推薦者

原則として推薦者が必要ですが、自薦も可とします。

#### 5. 応募締切日

2010年9月30日（木曜日）までに当会事務局必着とします。

#### 6. 選考方法

当会の選考規程に基づき、当会が委嘱した学識経験者をもって構成する選考委員会で選考します。選考過程で必要に応じ、著書・論文・参考資料の追加提出を求める場合があります。（応募時に提出されたものも含め、著書・論文・参考資料は、原則として返却しません。）

#### 7. 授賞の発表

授賞が決定次第、受賞者ならびに推薦者に通知します。  
公式の発表は、2011年2月中旬に行う予定です。

#### 8. 賞

- |             |      |              |
|-------------|------|--------------|
| ・村尾育英会学術賞   | 1名内外 | 賞状および副賞100万円 |
| ・村尾育英会学術奨励賞 | 2名内外 | 賞状および副賞各50万円 |

#### 9. 表彰

2011年3月上旬に、神戸市内で行う予定です。

以上

# 「村尾育英会学術賞」申請書

年 月 日

財団法人 村尾育英会  
理事長 村尾 一夫様

育英会  
受付印

1. 申請者 (本人)	
氏名 (フリガナ) <span style="float: right;">印</span>	年 月 日生 (満 歳)
研究機関名	役職名
所在地 〒	TEL
	FAX
	E-mail
自宅 〒	TEL
	FAX
	E-mail
所属学会名	
2. 共同研究者 (有・無) 有の場合は、以下に氏名 (フリガナ)・年齢・研究機関名・役職名を記載して下さい。	
3. 研究課題 (20字以内)	
4. 研究課題に関する専門領域	

上記の「村尾育英会学術賞」申請者を推薦します。

5. 推薦者 (自薦の場合は記入不要です)	
氏名 (フリガナ) <span style="float: right;">印</span>	
研究機関名	役職名
所在地 〒	TEL
	FAX
	E-mail

6. 申請者（本人）の略歴

年	月	事 項

7. 研究課題に関する助成実績（5年以内）または他の助成機関への申請の有無

年度	助成機関の名称	助成金の名称・額
他の助成機関への申請の有無（有の場合はその詳細）		

8. 研究目的または動機

--

9. 研究課題の成果大要

10. 研究課題以外の業績大要

11. 研究課題に関する日本および外国での研究の現状

12. 業績リスト（共著の場合は、共著者名をすべて記入して下さい）  
その内の代表的著書・論文（5編以内）に○印をつけ、提出して下さい。



業績リスト（つづき）

村尾育英会へ提出する著書・論文の合計  
（返却が必要なものについては、その旨明記して下さい）

編

「村尾育英会学術賞」受賞者一覧表

回数・年度	受賞者・賞	所属研究機関	研究課題
第1回 昭和58年度	埋橋 孝文 (奨励賞)	兵庫県立労働経済研究所	港湾労使関係の史的研究 (ロンドン港と神戸港を中心に)
第2回 昭和59年度	江本 雅三 (奨励賞)	神戸検疫所	神戸港に生息するネズミ族及び外部寄生虫 (特にノミ)・内部寄生虫・病原微生物 の年次変貌について
第3回 昭和60年度	玉利 祐三 (学術賞)	甲南大学 理学部	神戸の水 (その水質の化学的解析に関する研究)
第4回 昭和61年度	安井 三吉 (学術賞)	神戸大学 教養部	孫文と神戸
	古城 方和 (奨励賞)	兵庫県立公害研究所	大阪湾の富栄養化防止に関する研究 (大阪湾海水の好ましい水質基準の検討 に関する研究)
	田中 登 (奨励賞)	帝塚山短期大学	古筆切の国文学的研究 (須磨寺塔頭正覚院所蔵貼交屏風など)
第5回 昭和62年度	中村 哲夫 (奨励賞)	神戸学院大学 人文教養部	呉錦堂財閥の研究
	柴 孝夫 (奨励賞)	京都産業大学 経営学部	川崎造船所の経営史的研究
第6回 昭和63年度	橋本 徹 (奨励賞)	関西学院大学 産業研究所	挑戦するみなと神戸 (大都市産業の再生)
	服部 保 (奨励賞)	兵庫県教育委員会事務局	神戸市の植生 (特に照葉樹林に関する研究)
第7回 平成元年度	林 芳樹 服部 孝司 橋田 光雄 (学術賞)	神戸新聞社	造船・鉄鋼・海運・交通などにおける国際 派の実業家・松方幸次郎の再評価と今日的 意義
	棚田 眞輔 (学術賞)	神戸商科大学 商経学部	神戸居留外国人が展開したスポーツ活動 に関する研究
第8回 平成2年度	安西 敏三 (学術賞)	甲南大学 法学部	平生鈞三郎の研究
	宮西 悠司 広原 盛明 (学術賞)	神戸地域問題研究所 京都府立大学生生活科学部	神戸市インナーシティにおける住工混合 市街地の地域活性化と居住環境整備に関 する住宅・都市計画的な研究
第9回 平成3年度	南部 稔 (学術賞)	神戸商科大学 商経学部	現在中国の財政金融政策
	洲脇 一郎 (奨励賞)	神戸市教育委員会	外国人居留地を中心とする近代神戸の都 市形成
	小林 禧樹 (奨励賞)	兵庫県立公害研究所	神戸市の植物相に関する調査研究
第10回 平成4年度	橋 幸男 (学術賞)	兵庫県立明石西高校	神戸方言の談話資料の文字化および文節・ 単語単位の索引の形成
	安保 則夫 (奨励賞)	関西学院大学 経済学部	神戸における近代都市形成と社会政策の 展開

「村尾育英会学術賞」受賞者一覧表

回数・年度	受賞者・賞	所属研究機関	研究課題
第11回 平成5年度	下村 和雄 (奨励賞)	神戸大学 経済経営研究所	動学的国際経済学の確立
	小石原 尉郎 (奨励賞)		雇用の場における障害差別の違法性について
第12回 平成6年度	山地 秀俊 (奨励賞)	神戸大学 経済経営研究所	アメリカにおける現代会計制度の成立過程に関する研究
	栗川 隆宏 (奨励賞)	兵庫県立生活科学研究所	高齢者に配慮した生活用品に関する研究
第13・14回 平成7・8年度	岩崎 信彦 (震災特別学術賞)	神戸大学 震災研究会	阪神・淡路大震災に関する総合的研究
	角皆 潤 (震災特別学術賞)	東京大学 理学部	市販のミネラルウォーターを用いた1995年兵庫県南部地震の前兆的地下水変動に関する地球科学的研究
	富永 恵 (震災特別学術賞)	京都大学 工学研究科	兵庫県南部地震による阪神高速道路神戸線ピルツ工法鉄筋コンクリート道路橋の震害調査と倒壊機構の解明に関する一連の基礎的研究
第15回 平成9年度	小島 健司 (奨励賞)	神戸大学 経済経営研究所	企業組織の比較経済分析
第16回 平成10年度	下山 昌彦 (学術賞)	兵庫県警察本部 刑事部科学捜査研究所	ラマン分光法、近赤外分光法及びケモメトリックスを用いたポリマーの非破壊分析
	林 愛明 (学術賞)	神戸大学 理学部地球惑星科学科	1995年兵庫県南部地震の震源断層に関する研究
第17回 平成11年度	中村 隆文 (奨励賞)	神戸女子大学 文学部	明治期図画教育史研究
	佐藤 和之 (奨励賞)	弘前大学 人文学部	非日本語話者に対する災害時の緊急情報の与え方に関する調査・研究
	津川 誠司 (奨励賞)	財団法人 21世紀ひょうご創造協会	兵庫県内市町における地域情報化政策上の課題に関する研究(市町ホームページを事例に)
第18回 平成12年度	李 樹華 (学術賞)	姫路工業大学 自然・環境科学研究所	中国盆景の文化史及び技術史に関する研究
	藤田 清士 (奨励賞)	神戸大学 理学部地球惑星科学科	兵庫県北部の溶岩地形及び山崎断層系の研究
第19回 平成13年度	赤井 伸郎 (奨励賞)	神戸商科大学 経済研究所	最適財政システムの経済分析
	羽森 茂之 (奨励賞)	神戸大学大学院 経済学研究科	資産価格変動に関する計量分析
	清水 美智子 (奨励賞)	関西国際大学 人間学部	近代日本における<女中>イメージの変遷に関する研究
第20回 平成14年度	清家 章 (学術賞)	大阪大学大学院 文学研究科	近畿古墳時代における原始・古代の親族構造の研究
	平田 富士男 (奨励賞)	姫路工業大学 自然・環境科学研究所	緑のまちづくり指導者の養成手法に関する研究
	松本 充豊 (奨励賞)	神戸大学大学院 国際協力研究科	中国国民党「党営事業」の研究

「村尾育英会学術賞」受賞者一覧表

回数・年度	受賞者・賞	所属研究機関	研究課題
第21回 平成15年度	森永 速男 (学術賞)	姫路工業大学大学院 理学研究科	自然科学、特に岩石磁気学の手法を活用した考古学研究(考古科学)
	羽森 直子 (奨励賞)	流通科学大学 情報学部	ドイツ中央銀行および欧州中央銀行の金融政策
第22回 平成16年度	谷口 真吾 (学術賞)	兵庫県立農林水産技術 総合センター	トチノキの花芽形成と結実機構に関する研究
	赤澤 宏樹 (奨励賞)	兵庫県立大学自然・環境 科学研究所	‘共’空間を媒介としたコミュニティ・ランドスケープの形成
第23回 平成17年度	谷崎 久志 (奨励賞)	神戸大学大学院 経済学研究科	計算負担の多い推定・検定に関する研究
	三上 和彦 (奨励賞)	兵庫県立大学 経済学部	協同組合の経済理論の構築
	奥村 弘 (奨励賞)	神戸大学文学部	近代地域社会形成史と史料保全論の研究
第24回 平成18年度	一ノ瀬 友博 (学術賞)	兵庫県立大学自然・環境 科学研究所	都市域における生態的ネットワーク構築手法
	宮尾 龍蔵 (学術賞)	神戸大学 経済経営研究所	日本の長期停滞とマクロ金融政策の役割
第25回 平成19年度	三崎 秀央 (奨励賞)	兵庫県立大学 経営学部	知識労働者のマネジメントに関する研究
	菊地 直樹 (奨励賞)	兵庫県立大学自然・環境 科学研究所	コウノトリの野生復帰の環境社会学的研究
	飯田 文雄 (奨励賞)	神戸大学大学院 法学研究科	多文化共生時代におけるリベラリズム
第26回 平成20年度	坂井 一成 (奨励賞)	神戸大学大学院 国際文化学研究科	ヨーロッパにおける民族の対立と共生
第27回 平成21年度	宇高 雄志 (奨励賞)	兵庫県立大学 環境人間学部	アジアの地域社会にみる多民族の混住と共存
	永松 伸吾 (奨励賞)	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	防災・減災政策の規範的・実証的研究

# 財団法人村尾育英会とは

神戸港を中心とした港湾事業に一生を捧げた株式会社 上組<sup>カミグミ</sup>\*の元代表取締役会長・村尾市松翁は、生前「若者に夢を与え、豊かな人間性を養うことが、次の時代を形成する原動力であり、文化・学術の振興を図ることが社会に貢献することである」という強い信念を持っていました。翁のこの理念に則り、村尾育英会は1972年8月神戸市において設立されました。

\*東証・大証一部上場会社

当会では以下の事業を行っています。

## ①奨学事業

兵庫県出身もしくは兵庫県下の大学生約100名に対し、返済不要な奨学金を卒業まで毎月支給しています。

これまでに採用した奨学生は、約1100名となっています。

## ②学術研究助成事業

当初は、広く学術研究の助成ならびに出版の援助をしていましたが、昭和58年度から新たに「村尾育英会学術賞・学術奨励賞」を制定し、神戸・兵庫にゆかりのある学術研究および研究者に対し、毎年その業績を顕彰・助成しています。

これまでに学術賞を19件、学術奨励賞を36件授賞しました。

## ③青少年活動助成事業

兵庫県下において、地道な地域ボランティア活動を通じ、青少年の健全育成を続けている青少年団体・グループに対し、「村尾育英会賞」を制定し、毎年その活動を顕彰・助成しています。

これまでに303団体に授賞しました。

## 創設者 村尾市松翁の略歴

明治31年1月10日	出生
大正7年1月	上組合資会社入社
昭和17年6月	上組合資会社副頭取就任
20年7月	上組合資会社代表社員頭取就任
29年5月	兵庫県港湾協会会長就任
34年8月	水難救済事業功労者として紺綬褒章受章
36年7月	海事功労者として運輸大臣表彰
36年11月	神戸商工会議所副会頭就任
37年12月	港湾事業功労者として日本港湾協会より表彰
40年1月	株式会社上組代表取締役会長就任
42年5月	港湾事業功労者として神戸市長表彰
43年4月	港湾事業功労者として勲四等瑞宝章受章
45年12月	株式会社上組相談役就任
47年1月	財団法人村尾育英会設立のため、 自己所有株の寄附意図を公表
47年3月6日	逝去・従五位に追叙
47年8月	(財団法人 村尾育英会設立)